ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 5

インストールガイド

アレイを構築して使用する場合、RAID 管理ツールの『ServerView RAID Manager』を使用します。 VMware vSphere ESXi 5.x(以後、ESXi 5 と略します)サーバで ServerView RAID Manager を使用する際には、以 下の手順でインストールと設定をおこなってください。

VMware ESX4 から ESXi5 にアップグレードする場合

VMware ESX4から ESXi 5にアップグレードする場合、ServerView RAID Managerの再インストールが必要です。 ESXi 5 にアップグレードする前に ServerView RAID Manager をアンインストールし、アップグレード後に以下の 手順にしたがってインストールをおこなってください。

1 ServerView RAID Manager のインストールと設定

1.1 ServerView RAID Manager をインストールします。

ゲスト OS 、もしくは Windows または Linux のサーバを別途用意して、そこに ServerView RAID Manager <u>v5.3.13以上(最新版を推奨)</u>をインストールしてください。 ServerView RAID Manager のインストール方法は、「ServerView RAID Manager ユーザーズガイド」 を参照してください。

注) 自ホストの名前解決ができるように設定してください。そのときにホスト名を 127.0.0.1 以外の外 部と通信ができる IP で解決できるように設定してください。 名前解決できない場合は ESXi サーバを監視できません。

1.2 ESXi ハイパーバイザーのサーバ接続情報を追加します。※最大128台

ServerView RAID Manager に ESXi 5 ハイパーバイザーのサーバ接続情報を追加します。 ServerView RAID Manager が動作しているサーバで、次のように amCLI コマンドを実行してください。 amCLI コマンドは ServerView RAID Manager のコマンドラインツールであり、実行方法は Windows/Linux で共通です。

Windows (32bit)の場合

> cd C:\Program Files\Fujitsu\ServerView Suite\RAID Manager\bin

> amCLI -e 21/0 add_server name=<ServerName | IP Address> port=5989 username=<UserName>
password=<UserPassword>

※環境によりシステムドライブ(C:)は異なる場合があります。
 ※Windows (64bit) /Linux の場合は、実行パスを以下に読み替えてください。
 Windows (64bit) C:¥Program Files (x86)¥Fujitsu¥ServerView Suite¥RAID Manager¥bin Linux /usr/sbin

各種パラメータの説明

パラメータ	内容
amCLI	ServerView RAID Managerのコマンドラインツールです。
-e 21/0 add_server	ESXi サーバの接続情報を追加するためのオプションです。
name=	ESXi サーバ名または IP アドレスを設定します。
port=	ESXi サーバの CIMOM に https 接続するためのポートを指定します。
username=	ESXi サーバの CIMOM にアクセスするためのユーザー名を指定します。
password=	ユーザー名に対応するパスワードを指定します。
	※設定したパスワードは暗号化されて保存されます。

1.3 ServerView RAID Manager サービスを再起動します。

```
事前に CIM サービスが起動していることを確認してください。
次の手順でサービスを再起動してください。
Windows の場合:
「コンピュータの管理」→「サービス」→「ServerView RAID Manager」を選択してサービスを再起動します。
```

```
Linux の場合:
```

/etc/rc.d/init.d/aurad restart を実行します。

1.4 ロックダウンモードを無効にします。

ESXi サーバのロックダウンモードを無効にします。

ESXiのトップ画面より F2 キーを押して"Customize System"画面を呼び出し、Configure Lockdown Mode が Disabled になっていることを確認します。

System Customization	Configure Lockdown Mode
Configure Password Configure Lockdown Mode Configure Management Network Restart Management Network Test Management Network Network Restore Options Configure Keyboard Troubleshooting Options View System Logs View Support Information	Disabled When enabled, lockdown mode p directly into this host. The through this local console or management application.
Reset System Configuration	

もし、Enabledになっている場合は、設定を Disabledに変更してください。



1.5 インストールと設定は完了です。

正しく登録できた場合、ServerView RAID Manager の画面左のツリーに"[ESXi サーバの IP]コント ローラ名"の形式で表示されます。

< 画面例 >

S'ServerView	
RAID Manager	
ファイル 編集 言語 ヘルプ ⇔ ⇔ 編集禁止モード ▼	▶ ESXiホストのIPを付加して表示
LSI 1064SASIME-2550 (D) LSI MegaRAID S/S 6880EM2 (1) XXXXXXXX]LSI RAID 0/1 SAS 44 XXXXXXXX]FTS RAID 5/6 SAS b XXXXXXXX]LSI SAS3442E (4) SAS Port 0 - 3	全般 \設定 \ システム 名称 IPアドレス FQDN FQDN FQDN FQDN FQDN

表示されない場合は「2 ESXi サーバと通信できているか確認する場合」にて、ESXi サーバと正しく接続できているかご確認ください。

2 ESXi サーバと通信できているか確認する場合

設定した ESXi サーバと ServerView RAID Manager が正常に通信できているか確認する場合は、amCLI -e 21/0 verify server コマンドを使用します。

> amCLI -e 21/0 verify_server name=<<u>ServerName | IP Address</u>> *登録時と同じ形式で指定してください。

実行結果が「No error」の場合は正常です。

それ以外の応答があった場合は、ESXi サーバと正常に通信できていないことが考えられますので、それぞれの サーバの各種設定(ファイアーウォールの設定、名前解決の設定、ホスト名および IP アドレスの設定、パスワ ードの設定、等)をご確認ください。

3 設定した ESXi サーバの一覧を参照する場合

設定した ESXi サーバの一覧を参照する場合は、amCLI -e 21/0 show_server_list コマンドを使用します。

> amCLI -e 21/0 show_server_list

このコマンドは、amCLI -e 21/0 add_server で追加した全ての ESXi サーバを接続の可否・設定ミス等に関係なく一覧で表示します。

4 設定した ESXi サーバ接続情報を変更する場合

設定した ESXi サーバ接続情報を変更する場合は、amCLI -e 21/0 modify_server コマンドを使用します。 例えば、ポート番号を 5988 に変更する場合は、次のコマンドを実行します。

> amCLI -e 21/0 modify_server name=<<u>ServerName | IP Address</u>> port=5988 *登録時と同じ形式で指定してください。
ServerView RAID Manager サービスの再起動を実施してください。

5 設定した ESXi サーバ接続情報を削除する場合

設定した ESXi サーバ接続情報を削除する場合は、amCLI -e 21/0 delete server コマンドを使用します。

> amCLI -e 21/0 delete_server name=<<u>ServerName | IP Address</u>> *登録時と同じ形式で指定してください。
ServerView RAID Manager サービスの再起動を実施してください。

■注意事項

1. ESXi 5 の Fujitsu 版以外を使用している場合は RAID 監視できません。

ESXi 5には、Fujitsu版の他にオリジナル版や他社版が存在します。 Fujitsu版以外を使用した場合、RAID監視するための必要なコンテンツが含まれていないためRAID監視で きません。

ServerView RAID Manager のインストールは成功しますが、ServerView RAID Manager (GUI)を起動 したときにコントローラや HDD 等が画面に表示されません。

RAID 監視するためには、必ず Fujitsu版をご使用ください。

ServerView RAID Manager サービスの起動前に、CIM サービスが起動していることを確認してください。 ServerView RAID Manager サービスを起動する場合は、 <u>必ず ESXi サーバ上の CIM サービスが起動して</u> <u>いることを確認してください。</u> 停止している場合は、事前に CIM サービスを起動してください。 VMware ESXi サーバの RAID 構成は、ServerView RAID Manager のサービス起動時に CIMOM を経由して取得します。このため、CIM サービス停止中に ServerView RAID Manager のサービスを起動すると、 RAID 構成を認識することができません。

もし RAID 構成が表示されない場合は、CIM サービスを再起動しサービスが起動したことを確認後、あらためて ServerView RAID Manager サービスの再起動を実施してください。

3. 仮想デバイスの監視は不要です。

ゲスト OS (Windows のみ) に ServerView RAID Manager をインストールした場合、画面左のツリーに仮 想デバイスが表示されます。仮想デバイスは監視不要ですので<u>該当する画面の情報やイベントは無視してくだ</u> <u>さい。</u>

V5.6.4 以降

WIN-7HNKG2A3NA5	今 <u>4</u> 2	
	「花相デパイフ	
VMware Virtual Serial Attached	BUS INTA	
🖻 📲 SAS Backplane	1373	
	夕称	VMware Virtual Serial Attached SCSI (SAS) controller (0)
Vinware Vintual disk (0)	-017	vivivare virtual cenar Attached SCOI (CAO) controller (0)
	ID	0

V5.5.12 まで

	全般(設定)	
📮 📲 📲 (xx.xx.xx.xxx)] LSI BX620 IME SAS		
🖨 🕂 🔣 SAS Backplane	_ システム	
SEAGATE ST973452SS (0)	名称	
TOSHIBA MBF2147RC (1)	IPアドレス	
LogicalDrive 0 (0)	IP6 アドレス	
●-■■ LSI (0) 仮想デバイス	FQDN	WIN-7HNKG2A3NA5.psd.cs.fujitsu.co.jp
📄 🖶 🕂 SAS Backplane		
	オペレーティングシステム ――	
□ d a マルチブレクサ	ペンダ	Microsoft Corporation
	プロダクト	Windows Server 2008 R2

4. ESXi サーバを多数登録している場合はコントローラや HDD が表示されるまで時間がかかります。

ServerView RAID Manager に ESXi サーバを多数(数十台以上)登録すると、サービス起動後の ServerView RAID Manager の初期化に時間がかかる(数時間以上)場合があり、ログインしてもすぐにコ ントローラやHDD が表示されません。

したがいまして、サービス起動後は<u>充分時間をおいてからログイン</u>するか、または<u>ESXi サーバの台数を分割</u> して複数の ServerView RAID Manager にて監視することを推奨します。

5. ESXi ホストのパスワードにメタ文字は使用できません。

ESXi ホストのパスワードにメタ文字が含まれている場合、ESXi サーバを ServerView RAID Manager に 正しく登録できません。ESXi ホストのパスワードにメタ文字を使用しないでください。

6. ESXi サーバの vmk0 インタフェースの割当てについて。

ESXi では、vmk0 と呼ばれる最初のカーネルインタフェースが、物理 MAC アドレスが割り当てられている唯 ーのインタフェースです。このインタフェースの IP アドレスのみを物理 LAN ポートに直接割り当てることが できます。vmk0 インタフェースを非活性化すると、マネジメントブレードに構成された MAC アドレスの1つ に割り当てることができる IP アドレスがなくなるため、ブレードサーバの監視に問題が発生します。 ServerView Operations Manager のサーバリストサービスによって、ESXi システムが発見されません。

以上